



画廊・古美術 かしわ崎

戸田 史朗

TODA SHIROU

1943年 柏崎市出身

1980年 画廊かしわ崎を創業

市内東本町で店を構えて40年以上となる「画廊・古美術かしわ崎」。社長の戸田史朗さんは県美術商組合の会長を務めたこともあり、鑑定歴は40年以上になる。

市内宮之窪に生まれた戸田さんは中学を卒業すると、当時地元にあった戸田薬局で22年間働いた。戸田薬局は今でいうところの地元のスーパーのような存在で、戸田さんは移動販売をしながら家々をまわる仕事を引き受けていた。

元々古美術に興味があり、特に日本刀が好きだったという戸田さんは、仕事で訪れる家の人たちから書画や掛軸、屏風、茶道具などを見せてもらうことも多かった。興味を持って眺めているとお客さんが骨董品の見方について教えてくれた。わからないことがあると本を見て自分で調べていくうちに骨董品・古美術品への興味は高まり、ついには古物商許可証を取得するまでになった。

戸田薬局が廃業することになったことから戸田さんは独立して自分で商売を始めることにした。それが画廊かしわ崎の始まりで最初は貸画廊としてのスタートだった。その後、刀剣や書画、絵画、陶器、茶道具などの古美術品も扱うように

なり、知識を深め経験を積むために新潟県美術商組合にも加盟した。

骨董品とは作られてから100年以上経過したものを指し、特に絵画や掛軸、刀剣、壺など美術的要素のあるものは古美術品とされる。骨董品の中には筆筒などの古家具や古着物、古人形、古本、玩具、古銭、古文章等、種類も多く鑑定の仕事は難しいと戸田さんは話す。例えば、絵画や書画などは本物か偽物か、印刷かといった見極めのポイントや項目がいくつもあり、品物によっては指定管理人に依頼することもあるという。

古物業専門の業者が集う市場が全国で開催され、新潟県内では4カ所の地域で開かれている。そのうちの1カ所、柏崎では画廊かしわ崎の主催で戸田さんが毎月2回の市場を開催する。市場には市外その他、全国から古物商が集まり多くの品物の競りが行われている。

これまで長く培ってきた査定の豊富な経験と知識から現在は相続に関わる査定の機会も多く、蔵整理、古家の解体や整理などの仕事も請け負っている。

「古物商は信用で成り立つ商売。骨董品は夢を売るもの」という信念を持ち続ける戸田さん。「時代やブームによって品物の値段も左右されるが、物には歴史もあり大切な思い出もある。骨董品を買う人にも、古いものを売りたい人にも喜んでもらえることが重要で、その喜びは私の喜びでもある」と話した。



お問い合わせ

画廊・古美術 かしわ崎

柏崎市東本町1-16-22

TEL 0257-23-9549

FAX 0257-23-9541